

mikutter CommandのEventオブジェクトにWorldなどをもたせる

2018-04-05 00:29 - toshi_a 初音

ステータス:	終了	開始日:	2018-04-05
優先度:	通常	期日:	
担当者:	toshi_a 初音	進捗率:	0%
カテゴリ:			
対象バージョン:	3.9		
プラグイン名:			
説明 <p>現在、mikutter Commandを呼び出す時には、command イベントフィルタでmikutter Commandのリストを得て、Commandに与えるパラメータをまとめた Plugin::GUI::Event オブジェクトを引数にCommandを呼ぶ。Plugin::GUI::Event をModelとして提供し、新たに呼び出し時に注目しているWorldをEventのプロパティに含めるようにすることで、以下の問題の解決を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Commandのcondition呼び出し時と本体呼び出し時でCurrent Worldが異なる場合、conditionが成立しないときに本体を呼び出してしまふ可能性がある • 注目すべきWorldが通知されないために、ほとんどのCommandはCurrent Worldを参照している <p>Commandの呼び出し側が注目すべきWorldを指定する場合、呼び出し側がCurrent Worldを参照することになり、CommandがCurrent Worldに依存する必要がなくなる。</p> <p>また、コマンドを呼び出すプラグインは Plugin::GUI::Event のインスタンスを作る必要があるが、これをModelにすることで、GUIプラグインのモジュール空間に他のプラグインからアクセスするというダーティな方法を取らなくて良くなる。</p>			

関係しているリビジョン

リビジョン d4bb0913 - 2018-12-22 23:26 - toshi_a 初音

Plugin::GUI::EventをDiva::Modelにする refs #1200

リビジョン 3339351b - 2018-12-22 23:26 - toshi_a 初音

command DSLではcurrent worldを使わず、指定されたWorldを使う refs #1200

リビジョン 49f65fbb - 2018-12-22 23:26 - toshi_a 初音

Plugin::Gtk::ToolbarGeneratorでイベントが発生時に正しいWorldを渡す refs #1200

リビジョン 5aea34db - 2018-12-23 11:59 - toshi_a 初音

[shortcutkey] イベント呼び出し時にcurrent worldを渡す refs #1200

リビジョン 3a59464b - 2018-12-23 11:59 - toshi_a 初音

[shortcutkey] WorldをUIから選べるようにした refs #1200

リビジョン 5da16346 - 2018-12-23 11:59 - toshi_a 初音

[shortcutkey] キー設定時にWorldを選べるようにした refs #1200

- 選択したWorldのURIを保存

- コマンド実行時にURIをもつWorldを探索して渡す

リビジョン 55efb021 - 2018-12-24 08:53 - toshi_a 初音

[command] post_itは、commandで指定されたWorldのcompose spellを呼ぶ refs #1200

リビジョン b72f83a2 - 2019-01-08 23:57 - toshi_a 初音

[command] Plugin::Command::Conditionをdeprecateに refs #1200

履歴

#1 - 2018-12-09 13:32 - toshi_a 初音

- 対象バージョンを 3.7 から 3.9 に変更

opt.world みたいにかいたら対象のWorldにアクセスできると良さそう

#2 - 2018-12-23 11:58 - toshi_a 初音

- ステータスを 新規 から 実装待ち に変更

post_itイベントはpostboxの内容を投稿するが、postboxは常にcurrent worldに作用するようになっているので手を入れる必要がある。

また、対応していない、そもそもWorldを選ぶことに意味がないcommandについてもWorldの選択ウィジェットが表示されるので、対策する必要がある。

A) specファイルのバージョンを見る

commandを定義したプラグインがmikutter 3.9以上の場合だけWorldを選べるようにする。

ただし、この仕様にした場合は =opt.world= が存在しないバージョンならcurrent worldを使うといった実装ができなくなる (mikutter 3.9以上でspecファイルで要求すると、3.8以前ではプラグインがロードできなくなるため)。

B) world_filterオプション

今はすべてのWorldが選択肢として表示されているが、候補となるWorldをフィルタする条件をcommand DSLのオプションで指定する。

```
command(:post_it,  
  world_filter: ->w{ w.is_a? Plugin::Twitter::World },
```

Worldのリストに対してselect(&world_filter)し、残ったWorldをユーザに提示する。

ここに、 =:never= とか入れておくとそもそもWorldをキーコンフィグで設定できないようにすると良さそう。

また、conditionよりも高速であることが期待できるので、 =world_filter === world && condition === Event.new(...)= のような条件にすることもできそう。この挙動を前提にすると、プラグインがconditionにWorldの条件を書かなくて良くなる。

#3 - 2018-12-23 12:38 - toshi_a 初音

あっ =Plugin::Command::Condition= も =opt.world= みるようにしないと...

#4 - 2018-12-24 09:23 - toshi_a 初音

優先順位をつけてまとめる。

post_itイベントはpostboxの内容を投稿するが、postboxは常にcurrent worldに作用するようになっているので手を入れる必要がある。

done. pushした。

あっ Plugin::Command::Conditionも opt.world みるようにしないと...

やらずに、今Plugin::Command::Conditionを使っている部分をその場で実装する形に置き換える。

まず、Plugin::Command::Conditionの実装を変更すると、condition: はopt.world を見ているのにブロックは :world_current を見ていることになるので、古いプラグインを使っているユーザにとっては混乱の元になる。

加えて、せっかくなのでPlugin::Command::Conditionをすべてdeprecateにする。

A) specファイルのバージョンを見る

一旦保留。やるかも

B) world_filterオプション

本来はspellが対応するWorldをふるいにかけるために定義してほしいが、特定のslugを持つWorldを指定するのが横行しそう (Twitter専用、とか)。
せいぜい15,6個しかないWorldを1,2個にできるメリットや、ほんの少しパフォーマンスが上がるかもしれない程度だと思えば、実はやらないほうが

よいかもしれない。

#5 - 2019-01-09 00:14 - toshi_a 初音

- ステータス を 実装待ち から 終了 に変更

多分動くと思うからmergeした